

人間関係講座（グループ）第97回 [秋]

ーグループの中での人間関係の理解と実践のためにー

担当者	楠本 和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授） 土屋 耕治（南山大学人文学部心理人間学部講師）
概要	<p>この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの中での人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。</p> <p>私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。</p> <p>この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。</p> <ol style="list-style-type: none">①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく②「コンテンツ」と「プロセス」とは何かを理解する③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく <p>この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。</p> <p>【プログラムの内容（予定）】</p> <p>小講義「人間関係を体験から学ぶ」「体験学習のサイクル」「コンテンツとプロセス」 「グループプロセスとは?」「グループでの意思決定」など グループでの問題解決実習（実習「東京観光」等）とふりかえり グループでの創造的実習（実習「ブロックモデル」等）とふりかえり グループでのコンセンサス実習（実習「ボランティア」等）とふりかえり</p>
日程	2015年 10月17日（土）10：00～18：00 10月18日（日）9：00～17：00 土日集中
定員	36名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 土屋 耕治 記</p> <p>10月17日と18日の2日間にわたって、南山大学D51教室にて『第97回人間関係講座(グループ)』が開催されました。この講座は、ラボラトリー方式の体験学習の入門講座と位置づけられており、2日間のプログラムで構成されています。楠本氏と土屋の二人で担当しました。講座は、グループの中で他者と関わる際の自分の特徴に気づくことなどが目標に掲げられていました。</p> <p>いくつかの小グループでの実習の間に、ラボラトリー方式の体験学習の基本的な考え方の紹介を織り交ぜながら、体験・ふり返し・新たな体験という流れで講座は進行していきました。</p> <p>講師の私も受講生の皆さんの様子を前に、考える機会をたくさんいただきました。実習の後の全体シェアで、「分かっけていても出てきてしまう自分の特徴というものを実感した」と話されていた方がいらっしゃいました。加えてその方は、「そうした特徴も自分のものとして考えようかなと思うようになった」と話されていました。</p> <p>ラボラトリー方式の体験学習は日常とは違う関係の場で行われます。そうした場では、日常との乖離だけに目を向けるのではなく、日常での問題意識も持ち込んで臨むことで、そこに何らかのヒントが得られるのだらうと思いました。日常とは違う場だからこそできるチャレンジと、日常との接点を意識するからこそ得られる成長。これらのバランスがカギとなるのだらうと考えさせられました。これは、そうした場をどう作り出すかというファシリテーターの課題でもあります。</p> <p>私ども講師も受講生の皆さんの力を感じながら、新しく学ぶ時間となりました。皆さんのそれぞれの現場（職場、学校、家庭など）での益々のご活躍を祈念しております。</p>